

「4 月 4 日の皆既月食」

昨年に続いて、今年も明日「皆既月食」がある。月食は日食よりも回数は少ない。しかし一度月食が起きると、世界中の広い範囲で観測ができる。従って、人が(犬も、セキセイインコも)一生の間に遭遇するチャンスは、圧倒的に月食のほうが多い。今回の月食も、日本では特に条件が良く、東に昇る満月が欠けて、またもとの満月に戻る姿を観察できる。

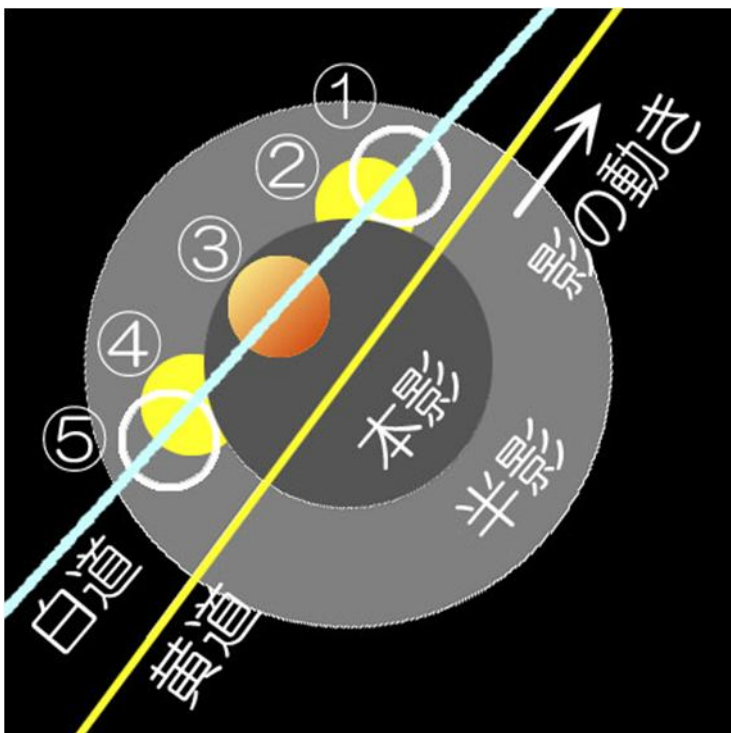
日時		方向角[°]			月[°]		視半径["]				その他	
年月日	時刻	北極	極頂	天頂	高度	方位	半影	本影	月	角距離	食分	備考
2015/04/04	19h15.4m	134	-51	185	14.9	108.3	4312	2355	890	3244	0.000	部分食の始め
2015/04/04	20h54.2m	190	-41	231	32.1	126.7	4313	2356	890	1466	1.000	皆既食の始め
2015/04/04	21h00.2m	197	-40	237	33.1	128.1	4313	2356	890	1456	1.005	食の最大
2015/04/04	21h06.4m	204	-39	243	34.0	129.4	4313	2356	890	1466	1.000	皆既食の終り
2015/04/04	22h45.1m	260	-18	279	45.6	157.2	4315	2357	890	3247	0.000	部分食の終り

2014 年 4 月 4 日の皆既月食の経過表 (国立天文台「暦計算室」で計算)

東京都文京区で計算してあるが、ほぼ関東全域で同じ時刻で見える。

月食は、黄道(太陽の通り道)と白道(月の通り道)が交差する付近に、ちょうど地球の影がある時に起きる。実際に夜間には太陽は見えないが、太陽のちょうど反対側の黄道上に、地球の影があるのだ。「満月が地球の影に入る」というよりは、「地球の影が満月を追い越してゆく」というのが正しい。

今回の皆既月食の特徴は、白道が地球の影ぎりぎりを横切っている点だ。従って、月が完全に影に入っている皆既継続時間は短く、12 分間ほどだ。影の縁に近い、月の左上側は少し明るく見えるはずである。写真は皆既中に予想される見え方である。ただし、月面の模様(月の向き)は実際とは合っていない)



明日の関東地方は天気が心配だ。もし晴れていたら、どなたか「桜と月食」の写真を撮って送ってほしい。

①食の始め ; 19:15 頃
 ②部分食 ; 19:50 頃の形
 ③皆既月食 ; 20:54~21:06
 ④部分食 ; 22:10 頃
 ⑤食の終わり ; 22:45 頃

(作図 ; C. Tanaka)

(お茶の水女子大学附属小学校

田中 千尋)